

カヤックで目指す四国のまほろば -吉野川河畔ふれあい広場-

1 社会資本の概要

吉野川河畔ふれあい広場は吉野川中流北岸の徳島県美馬市にある河川敷公園であり、国土交通省が基盤整備した後、地元美馬市がパークゴルフ場、サッカー場などの公園を整備したものです。(平成10~13年に整備)

吉野川河畔ふれあい広場周辺にはオートキャンプ場「四国三郎の郷」や水辺の楽校「中鳥川公園」などが隣接して整備されていて、3施設が一体的に連携し効果的に活用できるよう配置されていますが、吉野川河畔ふれあい広場に関してはパークゴルフなど陸上部分のスポーツ利用が主であり、ふれあい広場沿いの水辺はほとんど利用されていない状況でした。



吉野川河畔ふれあい広場



パークゴルフ場

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

近年、野外で遊ばなくなった子どもたち、そしてにぎわいのないふれあい広場周辺の水辺に憂いを抱いた藤川氏の呼びかけに地元のカヤック仲間約50名が応じ、平成18年に「AMEMBO」を結成しました。

AMEMBOの活動の核はふれあい広場周辺の水辺でのカヤック体験であり、隣接するオートキャンプ場「四国三郎の郷」と提携し、宿泊者の活動メニューとしてカヤック体験を提供するなど双方の利用者増加のための工夫を行っています。

また、AMEMBOはカヤックの他、里山を体験するツリーハウスや観光農園、食育のためのピザ焼きやそうめん流し、そして日本古来の伝承行事であるどんど焼きなど地域色豊かな取り組みを多角的に展開しています。



カヤックを体験する子どもたち



ツリーハウスで里山体験



徳島県 美馬市 AMEMBO / 美馬市



喜びの声

3 活動の成果や波及効果等

AMEMBOの活動の核であるカヤック体験は10年継続され、今では年間約2,000名の利用があります。

また、毎年小正月に開催するどんど焼きは今年で7回を数え、自治会や諸団体、企業等も連携して開催し地域の冬の風物詩として定着しています。

そして、一昨年からは、地域の新たな取り組みとして自治会や諸団体、国交省等が連携して春祭りを開催するなど活動の輪が広がり、ふれあい広場や水辺の楽校周辺の賑わい創出につながっています。



日本一のどんど焼き



春祭りでの三味線餅つきと野鳥観察会



受賞者

AMEMBO 代表 藤川 雅仁

コメント

この度の受賞は、地域の皆様のご理解とご協力あつての活動が、評価されたものと感謝しております。今後は、これを励みに更なる活動を通して魅力的な街づくりを目指し、活動してまいります。有難うございました。

活動内容

カヤック体験、里山体験（ツリーハウス、観光農園）、食育（そうめん流し、ピザ焼き）祭り（どんど焼き、春祭り）など

活動の経緯

- 平成18年 会の発足
- 平成19年 カヤック体験活動開始
- 平成20年 第1号ツリーハウス完成
- 平成22年 手づくりピザ焼き窯完成
- 平成29年 第7回日本一のどんど焼き開催

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

徳島県美馬市

活動主体及び連絡先

AMEMBO (0883-55-2105 AMEMBO事務所 代表: 藤川雅仁)

対象となる社会資本

吉野川河畔ふれあい広場 ※管理者 美馬市

